

101 ただより高いものはない

ただで物をもらうと、お礼にお金がかかったり、その人に頼みごとをされたりと、かえって高くつくということ。

102 立っているものは親でも使え

急ぎの用事があるときには、たとえ親であったとしても、そばで立っている人に頼むべきだ。

103 立つ鳥跡を濁さず

立ち去るときの後始末は、見苦しくないようにきちんとするべきだということ。

104 蓼食う虫も好き好き

辛い蓼を好む虫もいるように、人の好き嫌いはさまざままだということ。

105 棚からぼた餅

予想もしていなかった幸運が舞い込むことのたとえ。

106 旅の恥はかき捨て

旅先には自分を知る者もいないので、恥ずかしい行いも平気でしてしまおう。

107 旅は道連れ世は情け

一人で旅するよりも同行者がいたほうが心強いように、世の中でも互いに助け合い生きることが大切だということ。

108 玉磨かざれば光なし

才能や素質があっても努力なくして真価を発揮することはできない。

109 短気は損気

短気を起こすと、いらいらしたり、他人と衝突したりして、損をすることになる。

110 提灯に釣り鐘

形は似ているが実際は違いすぎて比較にならないこと。つり合いがとれないこと。

111 塵も積もれば山となる

小さなことも継続すれば膨大なものとなる。だから小さなこともおろそかにするべきではない。

112 沈黙は金、雄弁は銀

うまく話すことも重要だが、それ以上に沈黙していることの方が価値があることもある。

113 月とすっぽん

二つの物が、形は似ていても、比べられないくらいに差があることのたとえ。

114 角を矯めて牛を殺す

少しの欠点を直そうとしてやりすぎてしまい、かえって全体をだめにしてしまうこと。

115 鶴は千年、亀は万年

寿命が長くて、めでたいことのたとえ。

116 敵は本能寺にあり

本当の目的が全く別のところにあることのたとえ。

117 鉄は熱いうちに打て

① 考え方の柔軟な若いうちに鍛えておいた方が良い。② 情熱を持って事に当たれる時期を逃してはいけない。

118 出る杭は打たれる

才能があって抜きん出ている人や、でしゃばっている人は、嫉妬されたり、憎まれたりすること。

119 天は二物を与えず

天は一人の人間に、たくさんの長所や才能を与えることはないということ。

120 灯台下暗し

身近なことほど案外気づきにくいものだ。